2018 年度コラボミュージアム作品づくりコンテスト

小学校・中学校部門 アピールシート

平成 30年 1月 16日

二戸市立 金田一小学校 所属名 : 岩手県

実践学年組: 6年 A 組

氏名: 小林 あゆみ

教科	総合						
実践期間	2018年	6月	1 日	~	2018年	12月	15日

実践タイトル (35 文字以内)

【交流学習】修学旅行の発見や感想を2校で交換! ~来年は同じ中学だね!~

実践の目的

金田一小と仁左平小学校の生徒は来年度より同じ金田一中学校へ進学します。中学 校へ進学する前に相互理解を深める一環として、実施致しました。

実践のポイント・工夫

金田一小と仁左平小学校はそれぞれ宮城県に修学旅行に行きます。金田一小学校は 二戸市の PR 大使として二戸市を紹介する活動を行い、仁左平小学校は班別自由行 動を実施するなど、学習の目的が異なります。

それぞれお互いにどのような修学旅行にしたいのか、実際に行ってみて学んだ事な どコラボノートにまとめて班ごとに紹介。さらに相手の学校の生徒に付箋を利用し て質問、回答をする機会を設け、交流を深めました。

実践内容(簡単に)

事前学習にでは「メンバー、行程、行先、見学したい場所、やりたいこと」など、 設問に対して班で考えて記入。

修学旅行から戻った事後学習では「思い出、発見した事」など事前学習と同様に班 でまとめて記入。

記入を終えたら、相手校が記入したもの読んで、質問や感想を記入。同時に寄せら れた質問には回答し交流致しました。

(コラボノートを) 使用してよかった点を教えてください。

離れた学校同士でも付箋機能を利用するだけで交流ができました。交流学習という と特別に準備をするイメージがりますが、クラス単位で使用するのと同じ手順で手 軽に交流が出来るので便利です。

決してリアルタイムで実施する必要はなく、それぞれの授業時間に作業する事が出 来るのも便利な点です。

実践記録の概要(単元略案)

※コラボノートを活用した場面だけではなく、全体の学習の流れとコラボノートをど の場面でどのように活用したか記載してください。

全 4時間

時数	学習活動	先生の指導・支援	コラボノート
		および評価	の活用
	「楽しいかな?修学旅行!」	あらかじめ設定した質問事項に班	付箋機能を利用し
	修学旅行前に「見たいもの」「した	ごとに話し合って回答を記入。	て班ごとに意見を
1	いこと」など班で話し合ってまとめ	記入だけでなく、他の班や他校の	記入
	よう	意見も確認、参考にするように伝	
		える。	
	修学旅行当日		
	「楽しかったね♪ 修学旅行!」	修学旅行の思い出を班で話し合	写真機能の有効
2	修学旅行のまとめとして、班で思	って記入。	利用。
	い出をまとめよう。	付箋機能の他に写真も利用しよ	他の班の着眼点も
		り、修学旅行の楽しい雰囲気が伝	参考にできた。
		わるような作品するように指導	
		友達の考えを共有しながら, 自分	
		の考えを深めさせた。	
	「聞いてみよう♪ 修学旅行!」	相手校のまとめで、気になった事	付箋を利用して質
2	まとめたものを読んで質問してみ	や疑問に思った事を質問する。	問する。
	よう。	言葉使いや付箋の色使いに注意	
		する。	
		来年から一緒に勉強する仲間に	
1	「次は3年後? 修子旅177」 今回の学習を通して学んだ事を、	米牛がら一緒に勉強する仲間に なる事を意識して、記入。	
	中学校の修学旅行に生かそう。	′ょ幻尹で思瞅しく、礼八。 	
	丁子(スッノ)多子が口(こエル・)。		